

多機能型児童通所支援 風の丘

支援プログラム

法人（事業所）理念		1. 発達・家族・障がい児に終身一貫した地域包括支援の実施 2. 医学・福祉・保育・心理を一貫した独自性を出した良質な療育サービスの実践 3. 学びの心と質の高い職員育成							
支援方針		・子どもの心と身体に寄り添い、成長と発達を支え個々の子どもの特性に気付き一人一人に独自の支援をしていく。 ・全ての障がい、特に重い障がいや医療ケアへのニーズに応じ子どもたちの悩みや、発達に対し支援する。 ・地域のなかで家族や仲間と当たり前に暮らせるよう専門的な療育の場として地域包括の支援をしていく。							
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし	必要時看護師同乗あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・医療ケアや重度の障がいがあっても在宅で生活が可能な健康状態を維持できる。安心安全な環境で医療ケアを受ける事ができる。 ・定期的な心身の把握（体温、spo2測定、泣き方、顔色、表情） ・生活リズムと習慣（定期的な曜日での通所） ・日常生活動作の自立を目指す（児の身体能力に合わせ、排泄、衣服の着脱、食事などの自立に取り組む） ・食育として、個々の摂食状況に応じた食形態での食事を手作りで提供し、食事のマナーやルールを学び、食事の楽しさを知る。							
	運動・感覚	・姿勢保持、上下肢の運動動作の改善。拘縮予防のための体操。 ・リトミック、音楽に合わせた体操、児の可動域に合わせたストレッチの実施。 ・サーキットや室内遊具（ブランコ、ウォーターベット、バランスボールなど）を用いたバランス遊び。 ・指先を使った療育。（ピック刺し、ビー玉入れ、紐通し、プットインなど）							
	認知・行動	・朝の会、帰りの会を行い、日にち、天気、曜日、時間などの認知形成、日直や係の仕事を決め、自己肯定感を高める。 ・水遊び、雪遊びなど季節を感じる感性形成の行動。 ・感覚・触覚などの感覚を生かして認知機能の発達を促す							
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーション能力の向上（言語のみではなく、表情、泣き方、指差し、ハンドサイン、手話、カードなどの手段を使い児の特性を考慮した力をつける事ができる） ・言語表出の際に、傾聴し、児の思いや訴えをきちんと受け止め、褒めていきながら、自信を持って話が出来るよう支援する。 ・文字の読み書きの向上（宿題のあとの、絵本音読、読み聞かせ、ひらがなパズル、文字合わせなど）							
	人間関係 社会性	・子どもとの基本的な信頼関係、愛着形成が出来る。環境、人に対する安心感、安定感をはぐくむ支援をしていく。感情が崩れた際の安心の場の提供。情緒の安定。 ・遊びを通じて社会性を養う。社会生活を営む上でのルールや仲間と過ごす為の行動を支援する。 ・他者との関わりの形成。他者の気持ちを理解し、共感できる力を養う。大人になった自分の姿を想像し、希望を持って日々を過ごす事ができる。							
家族支援		・家族が「この子がいるからできない」事を「この子がいてもできる」と思える支援。両親の就労、兄弟の行事の際の対応。 ・兄弟と家族の時間づくり。 ・成長発達面、医療ケアの実際に関して家族の意思を尊重しアドバイス支援。			移行支援		・医療ケアがあっても、大集団で過ごす機会を持てるよう、個別支援保育を利用した場合の情報共有や連携。		
地域支援・地域連携		・江別市医療ケアコーディネーターと連携し、医療やりハビリ、事業所との関係構築。退院時などzoomなどでカンファレンスを開催。 ・相談員、学校などとのケース会議の開催。			職員の質の向上		・年数回の医療ケアスキルアップ講習会の開催。（江別市の医療ケアに携わる職種が参加） ・SST、母子関係などの講習会参加。全体会議での学習会。		
主な行事等		・年間、月間スケジュールに基づき、季節に応じた行事を開催。（こどもの日、ファミリーデー、七夕、夏祭り、ミニ運動会、ハロウィン、WEB発表会など）行事に合わせて、制作仮装、踊り、歌などを障がいの程度に合わせ、日々の療育に取り入れている。また、季節に応じた遊び（水遊び、雪遊びなど）を行っている。 ・年2回の避難訓練を行っている。							